

海外投資家のブラジル証券投資に係る金融取引税復活とその影響

HSBC投信株式会社

政府発表の要旨

ブラジル政府は、海外投資家によるブラジル証券投資に金融取引税 (IOF) を課することを発表しました。10月20日 (火) より、レアル建債券及び株式の購入時の外国為替取引に 2.0% の税率が適用されます。

実施日

2009年10月20日 (火)

金融取引税変更の内容

ブラジル政府は、海外投資家によるブラジル証券投資に金融取引税を課することを発表しました。同税では、従来、債券投資時の外国為替取引に対して 1.5% の税率が課されていましたが、2008年10月23日にゼロ%に引き下げられました。今回、同税率はゼロ%から 2.0% に引き上げられるとともに、株式投資も新たに課税対象に加えられました。

今回の金融取引税復活に関し、マンテガ蔵相は、「債券・株式市場への過度な投機を回避するために導入した」と述べており、通貨レアルの急激な上昇を抑えることが目的となっています。レアルは対米ドルで年初来約 35% 上昇しており、特に、この 1ヶ月間、内需主導による国内景気回復の鮮明化、米大手格付会社ムーディーズ・インベスターズ・サービス社による信用格付けの投資適格級への引き上げ、リオ・デ・ジャネイロでの 2016年夏季オリンピック開催決定など、相次ぐ好材料を背景に、海外から投資資金の流入が加速し、持続的なレアルの上昇をもたらしていました。こうした中、政府がレアル高の大幅な進行に懸念を示していたことから、現地紙は、金融取引税復活の可能性を報じていました。

今回の金融取引税の復活は、ブラジル株式市場、債券市場にとって短期的にはマイナス要因と見られます。目的的に投資資金の流入が抑えられる可能性があります。しかしながら、海外の投資家は、ブラジルの経済ファンダメンタルズ (基礎的諸条件) の改善、成長ポテンシャルに着目し、ブラジル投資の中長期的なリターンに強い期待を持って投資を行っています。したがって、当社では、今回の金融取引税復活が、中長期的にブラジルへの投資資金フローに与える影響は限定的であり、またレアル相場の安定推移の見通しを変える必要はないと見えています。

※末尾の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をお読みください。

＜関連するファンドに関わる事項＞

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎にリスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては「投資信託説明書(交付目論見書)」を良くご覧下さい。

お客様には投資信託のご購入にあたり、以下の費用をご負担いただきます。

○申し込み時に直接ご負担いただく費用

– 申込手数料 上限 3.675%(税込)*

○換金時に直接ご負担いただく費用

– 信託財産留保額 上限 0.5%*

○投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

– 信託報酬 上限年 2.1%(税込)*

○その他費用の詳細は各々の投資信託の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご確認下さい。

*費用の料率につきましては、HSBC 投信が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係る費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧下さい。

HSBC 投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 308 号

(社)投資信託協会会員/(社)日本証券投資顧問業協会会員

当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社と言います)が情報提供を行う目的で作成したものであり、特定の投資信託等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は法令に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載された市場の見通し等は作成時点での当社の見解であり、今後予告なしに変更されることがあります。また、当資料に記載された当社の見解等は、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。